

2. 4 2地区推進会

～活動・事業紹介～

大笹生地区標語コンクール

令和5年度
大笹生地区青少年健全育成推進会
標語コンクール最優秀作品

児童「交通安全」の部 あいさつは ひとのこころに はなざかす 四年 秋葉 楓	児童「防犯」の部 自転車も めんきよはないけど ドライバー 四年 紺野 春馬	児童「その他」の部 その電話 信じていいの 本当は？ 五年 紺野 敦斗	児童「その他」の部 さんじよのひと だいたいわかるよ あんしんだ 六年 長谷川 凛	保護者の部 やめようね 狭い道での 横並び 加藤 靖
--	--	---	---	----------------------------------

大笹生地区青少年健全育成推進会

北沢又地区標語コンクール

令和5年度
明るく元気なあいさつを広げるための標語コンクール

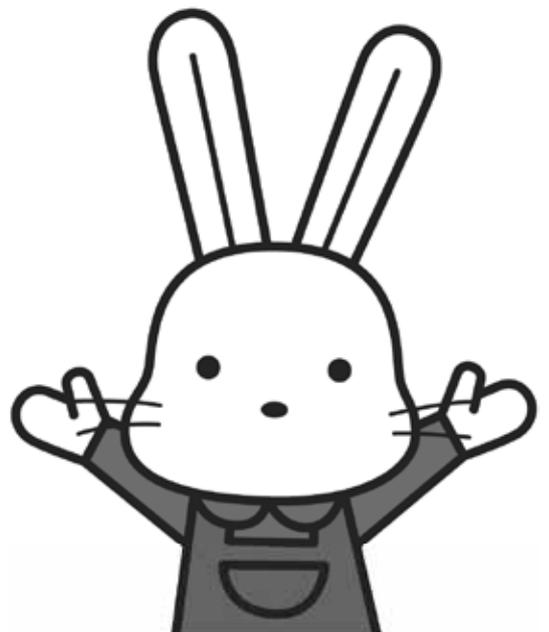
金賞

あいさつで
心ぽかぽか
気もちいい

福島市立北沢又小学校 二年二組

北沢又小学区青少年健全育成推進会

※各地区推進会から提出された活動資料
や広報紙（一部抜粋）などをもとに構成
しています。



令和5年度 活動資料

第一地区青少年健全育成推進会

推進会活動報告書

【体験活動】 キャリア教育（5・6年総合 インターンシップ） 6月・11月

- ・ 地域の事業所等での職場体験を通して、働く人の話を聞くことができ、将来について夢をもったり、職業について考えたりする素晴らしい機会となりました。



地域子ども応援事業

【一誠夏祭り】 令和5年10月28日（土）

- ・ 学年ごとに企画した催し物コーナーでの遊びによる交流活動を通して、児童及びPTA会員が相互の親睦を深め、秋のひとときを楽しく過ごすことができました。





あいさつ運動



第二地区青少年健全育成推進員の方々が、毎月2回ほど、朝、子どもたちのために、あいさつ運動を行ってくださっています。子どもたちは、「おはようございます。」とはっきりあいさつできるようになってきました。年間を通じて、継続してあいさつ運動に取り組んで下さる推進員の皆様に頭がさがる思いです。ありがとうございます。

地域を花いっぱい飾ろう

～花いっぱい運動～

令和5年7月3日



当日、保護者の皆様にお世話になりながら、マリーゴールドの花苗を植えました。1・2年生が、1本1本心を込めて、保護者と一緒に植えました。一つ一つのプランターに、1・2年生のメッセージも添えられていました。これらの花は、第二地区の学校や町内会に飾っていただきました。地域が花いっぱい飾られ、花いっぱい、笑顔でした。

健 育 亦

第 89 号
福島第三地区
青少年健全育成
推進会
発行責任者
真田 広志

ご挨拶

第三地区青少年健全育成推進会
会長 真田 広志



皆様におかれましては、日頃より第三地区青少年健全育成推進会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年5月に新型コロナウイルス感染症から類から類へ移行したことに伴い、自粛から活動へとキンドを切り替えながら、子供たちの生活や地域活動も徐々に活発化してまいりました。今年度、私共は、そのような状況を踏まえ、メーリングシステムを活用した「夜間ハトリール」や講演会の開催、更には地域の学校へ図書贈呈を推進するなど、積極的に活動を続けてまいりました。

しかしながら、長期に及ぶ新型コロナに伴う社会活動の変化は未だ、青少年の健やかな成長に大きな影響を及ぼしているとの報告もあります。

私共、第三地区青少年健全育成推進会と致しましては、それら青少年の抱える課題の解決に向け、地域の皆様との連携を深めながら、全力で取り組んで参りますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域子ども応援事業

5月25日(木) 26日(金)
NPO法人シエニールスクエア
理事長 穴戸仙助様をお呼びしての講演会



講師 穴戸仙助様



講演会場の様子

地区内夜間ハトリール

8月18日(金)から
8月20日(日)

例年実施しております「夜間ハトリール」を、今年度も行いました。メーリングシステムを活用し「青少年支援メール」に登録している会員の皆様と、8月18日から20日の3日間、

自宅周辺を地区内広範囲でハトリールを実施し、その結果をメール登録会員間で広く情報共有しました。今後、ハトリールを活用した効果的な活動を行ってまいります。



福島第三小学校

鑑賞教室

『創作和太鼓集団 打鼓音』
勇壮な演奏を鑑賞!!



主催 福島市立福島第三小学校
共催 第三地区青少年健全育成推進会

【笑顔で子育て楽しんでますか】

講師 岩下 聡様 (前福島市立清明小学校校長)
子ども親とみんなの笑顔サポート imacoco(いまここ)代表

講演会

10月17日



講師 岩下 聡様

大丈夫エネルギーあふれる子育て(大丈夫だよの言葉)、いい塩梅の子育て(バランス)、日々の出来事を楽しむ子育て(関係恋愛)等についてお話し頂きました。



挨拶：福島第三小学校校長



青少年から図書贈呈

12月5日(火)

福島東後高校とふくしま支援学校に図書を贈りました。この取り組みは以前から行っており、今後も第三地区の学校へ図書贈呈を続けてまいります。



福島東後高校



ふくしま支援学校

令和5年度 第四地区青少年健全育成推進会 活動資料

合同運動会【令和5年5月13日（土）】



新型コロナウイルス感染症が五類となり、第四地区体育協会、福島第四小学校、県立視覚支援学校、県立聴覚支援学校福島校の合同運動会を盛大に開催することができた。パン食い競争や大人の本気リレーなど、地域の園児から大人まで幅広く参加し、楽しみながら活動することができた。

第四地区見守り隊活動【通年】

○顔合わせの集い：令和5年5月31日（水）

○感謝の集い：令和6年3月12日（火）



第四地区見守り隊の皆様には年間を通して、登校指導を行っていただいている。年2回、見守り隊の皆様と全校生が一堂に会し、顔合わせと感謝の「集い」を行っている。

第四地区青少年健全育成推進会防犯教室【令和6年3月12日(火)】



今年度、第四地区青少年健全育成推進会初めてとなる防犯教室を実施した。信夫通り交番の職員の方を講師としてお招きし、さすまたを使った不審者対応訓練を実施した。

清明地区

青少年健全育成推進会だより 第31号

発行者：清明地区青少年健全育成推進会

清明ニューイヤークリニック開催

環境浄化部長

筒井 美智子



1月27日(土)清明小体育館において、毎年恒例の清明ニューイヤークリニックが開催されました。当日は、子どもたちと保護者、地域の方、先生方あわせて89名が集まりました。

最初の種目はエアロビクス体操です。インストラクターのご指導のもと、軽快な音楽にあわせて、大人も子どももみんな楽しく体を動かしました。はじめは簡単な動きでしたが、徐々にむずかしくなり、頭の体操にもなりました。体があたたまったところで、競技開始です。子どもたちは赤、青、黄の3チームに分かれて「玉入れ」「綱引き」「ドッジボール」の三種目を行いました。玉入れは子どもだけでなく大人も加わり、親子いっしょに玉の数を競いました。次の綱引きでは、大人の応援、歓声の中、どのチームも一勝一敗、引き分けとなりました。最後はみんな大好きなドッジボール。高学年低学年混合チームでしたが、息を合わせて頑張っていました。三種目ともにチーム総当たり戦での結果は、1位青チーム、2位赤チーム、3位黄色チームとなりました。子どもたちは普段の体育の授業とは違う雰囲気の中、保護者や地域の方に見守られながら、大きなケガ等なく、楽しく安全に競技を行うことができました。

ご参加いただきましたみなさま、および開催の準備・当日の運営にご協力いただきましたみなさま、本当にありがとうございます。心より御礼を申し上げます。



当日は89名の方が参加されました！ご参加ありがとうございました。お疲れ様でした！



PTA健全育成委員長

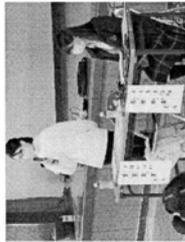
佐藤めぐみ

「よこそ先輩」開催

コロナ禍を経て2年連続の開催となったようこそ先輩。お迎えした清明小の先輩お二人の講演内容をまとめて紹介します。進行を担当していただいた清明地区青少年健全育成推進会の山田和江会長、ありがとうございました。

☆ 安藤穂波さん (学童クラブ 三河っ子勤務)

「好きなこと、楽しいな」と思っていることを大事に。莫然としてしたが「小さい中学高校を通して合唱部に所属し、福島一中時代は全国大会へ。真然としてしたが「小さい」と遊ぶのが好き」と考え保育士になり、現在も子どもたちの成長に携わっています。その経験から「好きなこと、楽しいな」と思ったことを大事にしてほしい」とアドバイス。



☆ 高橋祥希さん (桜の聖母学院 高校2年)

「挑戦しないと分からないことがある」。パワーポイントを使って、その隊「2023 福島・ドイツ高校生交流プロジェクト」に参加。パワポで生まれた有名なお菓子の子々を分かりやすく説明してくださいました。国旗や面積、ドイツで高橋さんが英語クイズもあり、参加者がドイツの理解を深めていきました。プロジェクトは英語でスピーチし、東日本震災の津波についてドイツの皆さんに伝えたそうです。



小学校時代の鼓笛パレード練習を通して音楽の楽しさを知った高橋さんが生かされているとのことでした。高橋さんには後輩たちに「挑戦や参加しないと分からないことがある。好きなことや分からないことがあったら何でもやってみてほしい」とメッセージを送っていました。

安藤さん、高橋さん、貴重なお話をありがとうございました。子どもたちの質問にも一生懸命答える姿が印象的でした。お二人の今後の活躍を期待しております。運営に携わってくださった地域の皆様、清明小の先生方及び保護者の皆さんに心より感謝申し上げます。



子ども避難の家マップ改訂

清明小学校学区内の「危険・注意箇所及び避難の家マップ」の改訂作業を行いました。年々、「子ども避難の家」にご協力をいただいた方が減少しております。ご協力をいただける方がいらっしやいましたら清明小学校までご連絡ください。



改訂版は新年度に清明小学校の全家庭に配付される予定です。

- ◆ 令和5年度 活動報告 ◆
- ◆ 6月 総会
- ◆ 8月 巡回パトロール クリーション活動
- ◆ 1月 ニューイヤークリニック・ようこそ先輩
- ◆ 2月 子ども避難の家マップ改訂作業
- ◆ 3月 広報紙第31号発行

令和5年度活動資料

三河台地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 活動内容

三河台地区青少年健全育成推進会では、通年をとおして、登下校時の通学路の見守り活動を実施するなど、安心安全な地域づくりを行っている。

その他、地区の小中学生を対象に標語コンクールを実施し、優秀作品を表彰するとともに、看板を作成し学校周辺に掲示するなど、地域で子どもたちの健全育成・非行防止の図る活動を行っている。

2 活動の様子



(登下校見守り活動の様子)



(健全育成標語コンクールの実施)

地区補導パトロール〔令和5年8月5日(土)、8月19日(土)〕

(非行防止活動部会 ^いがらし ^こ五十嵐 ツヤ子)



今年度も、夏休み期間中の青少年の非行防止活動の一環として夜間の地区補導パトロールを実施しました。

3回の実施を予定していましたが、1回目(小倉寺地区)と3回目(渡利地区)は、雨天のため中止となりました。

8月5日(土)のパトロールでは26名で渡利地区を4つの班に分かれ巡回しました。

特に心配する点はなかったようですが、一部暗い所がありました。また、わらじ祭りの帰宅途中の子ども達がいたため、早く帰るよう声を掛けました。

夜間にも関わらず民生児童委員や小学校のPTAの役員の方をはじめ多数の皆様に参加していただき、大変ありがとうございました。

親子清掃〔令和5年8月20日(日)〕

(環境浄化活動部会長 ^{さいとう}齋藤 なるみ)

去る8月20日(日)に親子清掃を実施しました。当日は、大人45名、子ども24名、合わせて69名の参加がありました。3コースに分かれて渡利学習センターから渡利支所までの通学路のゴミを拾いました。

早朝にもかかわらず沢山の方のお手伝いをいただきありがとうございました。

皆様のご協力により、渡利地区がきれいになりました。少しでもごみ減量を心がけていきたいですね。

参加者の中には3回目、2回目という家族や、小さいお子さんを連れ、抱っこされながら歩いてくれた親子もいました。本当にお疲れさまでした。

「子供達にマナーを教えるのは大人です。」



第22回わたいみんなのひろば〔令和5年12月3日(日)〕

(健全育成活動副部会 ^{はんざわ}半澤 ^こイミ子)



毎回わたりふれあいセンターで開催しておりましたが、今回は床暖のある渡利学習センター多目的ホールで行いました。

当日は、親子約50名と講師・役員など約25名を合わせて約75名の参加がありました。

竹とんぼやゴム鉄砲、紙ひこうき、折り紙、バルーンアートなど昔なつかしい遊びを中心に行いました。そして、出来上がった竹とんぼ、紙ひこうきを実際に外で飛ばし“子どもは風の子”でした。

みんなのひろば終了後、七草会の方と会員との手作り冬至かぼちゃと工作の先生手作りの竹とんぼセットをお土産にお渡ししました。



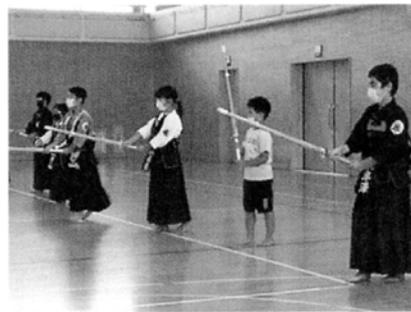
令和5年度活動資料

南向台地区（小学区）青少年健全育成委員会

- 1 夏休み夜間パトロール
毎年、青少年健全育成推進会和PTA健全育成委員会の協力を得て、地域の子どもの健全育成・非行防止を図る活動を実施した。
- 2 寺子屋なんこう大
地域のボランティア、南向台小職員、南向台PTAの協力を得て、夏休みに学習支援を3日間行った。主に、夏休みの課題や自由研究を中心として、多くの子どもたちが参加した。また学習支援だけでなく、地域で剣道を教えている方を講師に招いて、剣道教室を行うことができた。



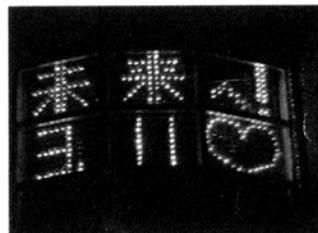
【学習支援】



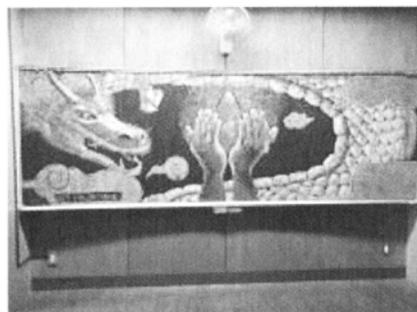
【剣道教室】

3 「3. 11から未来への灯火～2024キャンドルナイト」

- (1) 3. 11イルミネーション
2月15日、本年度も福島福サンケンさんのご協力により、校舎へのイルミネーション装飾を行うことができた。



- (2) 福島西校デザイン科の黒板アート
3月16日には、福島西高校のデザイン科の生徒12名が南向台小を訪問し、黒板アート制作を行った。また子どもたちと龍のオブジェを合作した。うろこに子ども達の願いを書き込み、未来に花開くようにと、黒板アートと関連した作品を作成した。



【12名による黒板アート制作】



【子どもたちの願いが書き込まれた龍】

- (3) 「堀下さゆり」ミニライブ
世代間交流と子どもたちの学び・体験活動の場を提供することを目的に、相馬市出身の堀下さゆりさんを招いてミニライブを開催した。
子どもから大人まで地域の方々が集い、ミニライブを楽しんだ。

令和5年度 杉妻地区青少年健全育成推進会の活動

◆非行防止活動部会による『家庭の日』街頭啓発

7月14日18時～19時まで、12名に参加いただき、南福島駅前
で啓発活動を実施しました。



◆非行防止活動部会による地区内パトロールの実施

8月18日、12月27日の計2日、累計23名に参加いただき、スーパ
ーノヴァほか8店舗を巡回しました。



◆市民講座(夏休み特別企画「学習センターに泊まろう」)(7月24・25日)への助成 参加者:杉妻地区小学5、6年生 9名



◆ひなんのいえマップ・CD・ROM 作成 杉妻小学校新入学児童等へ155部配布しました



令和5年度活動資料

東部地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 事業内容

東部地区青少年健全育成推進会では、子どもたちが、地域において生き生きと活動できるよう、地域の歴史の学習や祭りなどの伝統行事の継承活動を支援することを目的に、学習センターと共催で地域子ども応援事業を継続し実施しています。

地域子ども応援事業では、地域の方が講師となり、ミニ門松づくりや万華鏡づくりなどを子どもたちに教え、楽しい時間を過ごしました。

2 事業の様子



(ミニ門松づくりに挑戦！の様子)



(万華鏡づくりに挑戦！の様子)

令和5年度活動資料

瀬上地区青少年健全育成推進会

1 活動内容

瀬上地区青少年健全育成推進会では、児童の夏休みに合わせた3回の巡回補導や地区夏祭りの実施など、各部会ごとに様々な活動を展開している。

また5月には、本地区の他団体と協力しながら、町の中央にある旧4号線において「町内鼓笛パレード」を実施した。沿道には保護者や在校児童のみでなく、地域住民、未就学児などがつめかけ、6年生の演奏演技を見守った。

これらの活動を通して、地域の住民に会への理解・協力を求めるとともに、青少年健全育成の啓発に努めている。

2 活動の様子



町内鼓笛パレード

鎌田地区青少年健全育成推進委員会報

令和六年三月発行

第32号

ごあいさつ

鎌田地区青少年健全育成推進委員会

会長 菅田 憲孝

日頃より鎌田地区青少年健全育成会の活動に対しご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。コロナの制約がない環境になり、地域行事や学校行事等も再開され子どもたちの元気も回復してまいりました。

「あたりまえ」の日常の有難さを感じております。一方で、SNSやインターネットによる誹りや悪言、見えないところでの課題が増加しています。これまで以上に、家庭や地域で子どもたちが安心して過ごせる居場所を作っていく必要を感じています。

「あきらめ」の心で、世の中を生き抜いていくための力や判断力を身につけることができると、より多くの困難を乗り越えていきたいと思います。今しかできないこと、今だからできることをしっかりと考え、これからは各団体に連携しながら心とつなぐ青少年の健全育成をサポートできるように取り組んでまいります。

〆 一月一日の能登半島地震や翌日の岩手県沖地震で亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

ほめる、認める かかわりを大切に

鎌田小学校長 熊谷 賀久

新型コロナウイルス感染症が五類になり、今まで制限されていた活動が緩和され、感染対策を取りながら、集団での活動を工夫しながら行うことができるようになりました。本校でも運動会やこたてまつりなど、保護者の方々にお子さんの様子をみていただくことができました。二学期からの全校集会や始業式等も全校生が体育館に集まって行っています。少しずつ以前の活動を取り戻していき、子どもたちは友達と一緒の活動を楽しみ、毎日元気がいっぱい過ごしています。

ポストコロナを踏まえ、子どもたちがこれからの社会を生き抜くためには、予想外の困難の中でも何事にもチャレンジして最後まで立ち向かっていく「やる気」「勇気」「根気」が大事になります。それらを育てていくにはどうすればよいのでしょうか。どの子も心の中に、「話を聞いてもらいたい」「できたことをほめてもらいたい」「努力を認めてもらいたい」など、自分を価値ある存在として認めてほしいという気持ちがあります。そのため、周りの大人がその気持ちをしっかりと受け止め、「ほめる」「認める」といつたかかわりを十分に行うことが子どもたちの健

やかな成長につながります。そのことで、子どもは心を安定させ、自己肯定感を高め、たくましく体を鍛えていき、前向きに物事に取り組んでいきます。子どもたちは地域を支える人になり、育っていきます。子どもたちの成長を今後とも家庭と地域で協力して見守っていただきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

子どもたちの命や安全は、地域の多くの方々に守られている

鎌田地区青少年健全育成推進委員会

会長 鈴木 昭雄

鎌田小学校での会議の参加後や買い物の際に、田電車通りを北に向かい、自宅に向かう時に、目頭や胸が熱くなる光景があります。それが、鎌田小学校の子どもたちが下校する際に、各交差点などに立つ鎌田地区子どもを守る会の皆さんが、各町内会の代表の方々が、オレオレのジャンパーを身にまとい、子どもたちにやさしく声を掛けながら、横断歩道を渡らせている光景です。これは、鎌田地区全境で登校時や下校時に行われている活動であります。

思い起こすと、約二十年前の平成十七年二月、登校中の鎌田小学校の男児が殴られるという事件が発生し、その後、北沢又小学校の男児が殴られるという事件が立て続けに発生しました。子どもの命や安全を守るため、市内全地区で子ども見守り隊を結成しよう、関係機関から要請があり、鎌田地区では、現在も引き続き、献身的な見守り活動が継続されていることに敬服いたします。

併せて、鎌田地区交通安全母の会の皆さんにも、長年にわたり、街頭にお立ち頂き、子どもへの命や安全を守っていただいておりますことにも、改めて心からの感謝を申し上げます。

「気づき」と「見守り」

鎌田交通安全母の会
会長 中村 三希

鎌田地区青少年健全育成推進会の皆様には日頃より子どもたちの交通安全活動に対し、温かなご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。昨年、新型コロナウイルス感染症が五類感染症に移行したことにより、当会の活動も活発に再開されました。

朝の通学路での立哨活動は、子どもたちを交通事故から守るという大切な活動のひとつではありませんが、登校時の子どもたちの様子から何かの変化に気づく機会にもなっています。いつも複数人程集まって笑顔で登校している子どもたちなのに、今朝は一人だけでとぼとぼ歩いている姿に、「どうしたのかしら?」「気づき、明るい声で「気づき」をつけて、行つてらっしゃい」と声をかけ、次に会うときは注視して見守ります。

子ども一人一人の「健全な成長」を意識しながら、地域社会の連携を大切にして、今度も役員一同で、健やかな子どもを育てていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

鎌田地区青少年健全育成推進委員会

今年度の歩み

花いっぱい運動

花いっぱい運動は、今から約七十年前の昭和二十七年、長野県松本市の小学校の先生が、戦後の荒廃した町、余裕のない人々の心を何とかしよう、社会を美しく明るく住みよくなる、また花を通して人々の気持ちを豊かにとの願いを込め始められました。今は全国各地で行われ、色鮮やかな花が町を彩り、人々の心を豊かにしてくれています。

私たちの住む鎌田地区でも、毎年「花いっぱい運動」が行われています。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、簡略化、分業化して行いましたが、今年は、十一月二十四日に、例年通りに行うことができました。福島北警察署の古岡所長様をお迎えし、鎌田小学校の五六年の飼育栽培委員の皆さんを中心に、先生方、環境浄化部員、交通安全母の会の方々にもお手伝い頂き、パンジーの植え付けを行いました。

今年度も福島管信用金庫鎌田支店、東邦銀行北支店、北信支所、北信学習センター、福島北警察署に届けました。どの施設でも、毎年送られる花をとても大切にいただいています。

来年度も引き続き「花いっぱい運動」を行っていきます。

飼育栽培委員長

六年 佐藤 美空

飼育栽培委員として花いっぱい運動に参加し、花に対する思いが強く、花がずっと咲き続けたい、咲いてほしいと思うようになり、みんなと協力して花の世話をすることが楽しくなりました。学校が花に囲まれていると、気持ちがいいです。そして、がんばろうとする勇気ももらえるような気がします。花を見ながら、楽しく学校生活を送っていききたいです。

飼育栽培副委員長

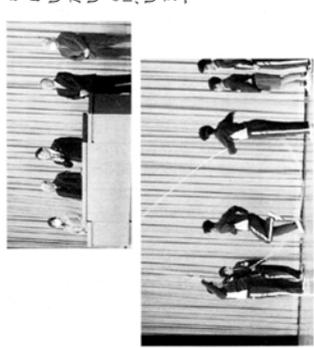
六年 林 璃人

花いっぱい運動によって、地域の方との交流ができました。地域のみなさんは、とても温かく接してくださいました。僕が一人で花を植えているときに、ついでに植えてくださったたり、プランターをいっしょに持つてくださったたりしました。プランターのパンジーは、学校の周りをとても明るくしてくれます。これからも花をいっしょにする活動を続けていきたいです。



ダブルダッツロープ贈式

親子ドッジボール大会中止に伴い、「鎌田小学校の子どもたちに元気に運動して体力をつけてもらいたい。」との思いで、今年度は各学級にダブルダッツロープを寄贈させていただきました。ダブルダッツとは、二本の縄を使つて二人一人跳んでいくなわとびです。このロープを使つてみんなでたくさん跳んで運動をたくさんしてもらい、元気を体につくり、チャレンジする心を育んでもらいたいと思います。



誰か

鎌田小学校生徒指導主事
松浦 健

教室で、子供たちによく話すことの中に、人との関わりについての話があります。人は一人では生きていけない、と

いうことは、よく言われます。生活に必要な物を一人で作り出すことは無理ですし、食べ物に關しても、完全自給自足は難しいです。誰かが作った野菜を食べ、誰かが作った服を着、誰かが作った布団で寝ています。

その誰かがいなければ、今の生活は成り立ちません。言わば、誰かに生かされているのです。教室でも話します。車を運転している人は、小学生が歩いたらスピードを落とすようにしています。危険は無いが、困っていないか、見てくれますか。気が付いていないだけで、誰かのおかげで安心して安全に生活することができているのです。

それら自分の周りの人達に感謝することが大切です。個人主義の風潮にのつたり、「自己責任」などという言葉をこまかしたりせず、一人一人が社会の一員として、「ありがとう」を心に生活していきたいです。

編集後記

教頭 雲野 裕

新型コロナウイルス感染症が五類感染症扱いとなり、今年度は、感染対策を万全にするなどの条件はついたものの、身の回りの様々な活動の多くが以前のようにできるようになりました。鎌田地区青少年健全育成推進会の活動も、子どもたちの健やかな成長のために、これまで以上に充実した活動になるのではないかと考えております。

令和5年度活動資料

余目地区青少年健全育成推進会

1 活動内容

余目地区青少年健全育成推進会では、年間を通して登下校時の通学路の見守り活動を実施している。

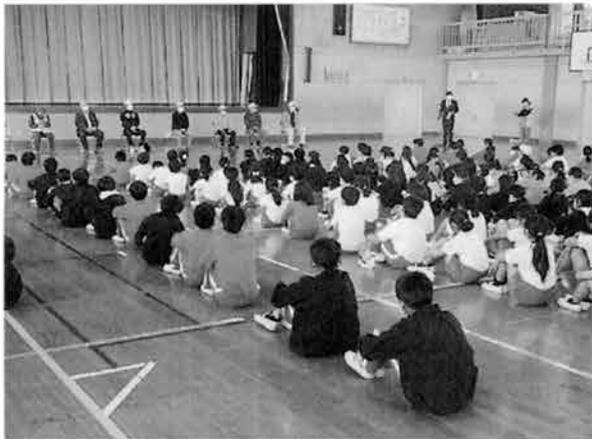
また、毎年「地区健全育成標語募集」を行っている。

募集は、「児童の部」「大人の部」「親子の部」の3部で募集している。例年、夏休みの体験などをもとに地域のよさに気づいたことや子どもたちが地域で健全に成長してほしいといった願い、地域や親子のふれあいから感じたことや考えたことを標語にしたものが応募されている。

応募作品は健全育成推進会で審査し、優れた作品は「余目キッズフェスタ」（学習発表会）の中で表彰している。また、参加賞の鉛筆にも印字して配付し、長く作品のよさにふれることができるようにしている。

更に令和4年度は、北信地域学校協働モデル事業の「地域一斉クリーン活動」に協力し、地域の環境保全や、子どもたちの活動が安全に実施できるよう協力してきた。

2 活動の様子



見守り隊との顔合わせ会



標語募集表彰式



クリーン活動とその見守り

令和5年度活動資料

矢野目地区青少年健全育成推進会

1 事業内容

矢野目地区青少年健全育成推進会では、「家族のふれあいを大切にする事業」「矢野目地域の子供を守る会事業」の推進を重点事業として活動しています。また、健全育成活動部会・非行防止活動部会・環境浄化活動部会の3部会を組織して、各部会ごとにさまざまな活動に取り組んでいます。

- 健全育成活動部会・・・標語コンクール、ウォークラリー、あいさつ運動
- 非行防止活動部会・・・補導パトロール、避難の家の確認、日常の見回り
- 環境浄化活動部会・・・クリーン活動、危険個所調査・対策

2 事業の様子

(1) 地区内補導・環境浄化活動（年3回実施）

非行防止活動部会と環境浄化活動部会が合同で実施。大型店舗や地区内の公園を巡回した。

- 第1回 7月20日（木）
- 第2回 12月22日（金）
- 第3回 3月22日（金）

(2) 講演会「アートの視点で日常を」

福島学院大学の木村信綱様を講師として、矢野目小学校6年生を対象とした出前授業を実施した。身の回りの物を使って文字をつくる活動に興味をもって活動していた。



令和5年度活動資料

吉井田地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 事業内容

吉井田地区青少年健全育成推進会では、毎年夏休みに子どもたちに自然体験活動の場を提供することを目的に、「いきいき合宿」を実施しています。

会津自然の家での「いきいき合宿」では、自然を満喫しながらアスレチックやナイトハイク、カヌー体験などを行い、楽しい時間を過ごしました。

2 事業の様子



1 活動内容

荒井地区青少年健全育成推進会では、毎年、親子で区内を清掃する「荒井ピカピカ清掃デー」を行っています。

令和5年度は、11月上旬に市の一斉清掃に合わせて、町会と連携して実施し、子ども54名、大人461名の参加をいただきました。

2 活動の様子



(集合時の様子)



(清掃活動中の様子)

「信陵夏祭りの防犯パトロール」について



R5.8.12 信陵夏祭り

最後の信陵夏祭りとこのことで、どのような様子なのかからなので、午後6時に早めに行き全体を把握しようと思いましたが、小さい子どもさんから大人までたくさんの方が来ていました。大声を出している人もなく、お店の前で順番を待っている人が大勢いました。男の子も女の子も自転車で来ている子が多く、あちこち固まっています。

非行防止活動部員の方々に、午後7時30分に集まってもらい、花火打ち上げ終了後二手に分かれて防犯パトロールをしました。角々に消防署の方も待機しており、花火が終わった後、あっという間に皆さん、スムーズに帰っていききました。

今年の夏は夜まで暑い日が続き、信陵夏祭りに関わった皆様、大変ご苦労様でした。お世話になりました。

「ミニ門松づくり」について



R5.12.23 ミニ門松作り

平成22年度より笹谷地区の年末恒例の親子行事となりました「ミニ門松づくり」。新型コロナウイルス感染症防止のため昨年までの3年間は希望された方々へ材料を配付し、各家庭でそれぞれ制作して頂くという形でしたが、新型コロナウイルスの分類が5類に移した今年、ようやく全体の制作活動という本来の形に戻りました。12月23日、笹谷小体育館にて23組の親子が集い、のこざりで竹を切る所から飾り付けまで親子で協力し、そうして出来上がった個性あふれる素敵な門松に誰もが笑顔でした。

この行事開催に一番大事なのは材料の確保です。菅野量工業所様にご一丁寧に作って頂いた量台をはじめ、地域の皆様からご提供頂いた松、竹、桝、南天。ここまで地産地消で準備が整って毎週ホントにスゴい！とあらためて笹谷の力に深く感動した日になりました。

第1回「社会や家庭を明るくする標語」

笹谷地区青少年健全育成推進会事務局 安田 康一
今年もおかげさまで、計426点というたくさんの作品が寄せられました。ご協力してくださいました小・中学校、そして地域のみなさまに心より感謝申し上げます。

各部門の最優秀賞を受賞した3名の方に、標語を作った思いを書いていただきましたので、ぜひお読みください。

「あいさつで 心える友達 笹谷の仲間」
笹谷小学校5年 本田 登偉
ほくは、友達が好きです。友達と仲良くなるきっかけは、いつもあいさつからでした。ほくはあいさつをされるとうれいので、自分からあいさつをするように心がけています。みんなにもうれい気持ちになってもらいたいです。
自分からあいさつをするようになって、違う学年の人や地域の人の人たちがたくさん知り合いました。これから元気があいて笹谷の仲間がふやきたいです。

「ハルメット かがって安心 減るリスク」
信陵中学校2年 菅野 優太
今年、この標語を作成にあたって、僕らは今年から自転車のヘルメット着用が義務づけられたことに注目しました。以前学校で行われた交通安全教室では、方角の時にヘルメットが空っぽ、何故も安全になると学びました。地区の皆さんも自転車に乗るときはヘルメットをかぶってほしいです。なお、この作品は「ハルメットと減るリスク」をかかえて、自習作ではありませんので、覚えやすいと思います。今回このような賞をいただけ大変うれしく思います。

「頑張る君 みんな誰かの 希望の芽」
大川 さおり
この度は、このような賞をいただき、ありがとうございます。
この標語は、勉強やスポーツを頑張っている子ども達の姿を見て思いつきました。
今年、野球をはじめ様々なスポーツが盛り上がり、子ども達がキラキラした目でテレビを見ていて、いい刺激になりました。
この小さな芽が、将来美しい花を咲かせてくれることを期待しています。

笹谷地区青少年健全育成推進会だより

令和6年2月号
笹谷地区青少年健全育成推進会事務局

『地域の未来を担う子どもたちのために』

菅谷地区青少年健全育成推進会長 菅 重幸



R5.10.27 標語表彰式にて

笹谷地区青少年健全育成推進会では、コロナ禍の3年間、あらゆる活動が制限されてきました。しかし、昨年5月8日の新型コロナウイルス第5類移行に伴い、様々な制限が解除され、多くの活動が活発化されました。7月15日に行われた『公園の危険箇所、遊具点検』では環境浄化部会で30カ所余りを見回りして、市に報告し、事故未然防止に努めました。8月12日の信陵夏祭りでは、非行防止部会による『小学生の補導活動及び防犯パトロール』を行いました。3年間材料配付のみとなっていた『ミニ門松作り』は、地域の皆様のご協力のもと、すべての材料を地元笹谷地区から提供いただき、健全育成部会を中心に笹谷小体育館で開催されました。のこざりやハサミなど普段あまり使っていない道具に苦闘しながらも、それぞれに個性豊かな門松を完成させています。地域の方々や親子の交流を図り、日本の伝統文化にもふれ、有意義な体験ができたことと思います。今年度で第21回目を数える『社会や家庭を明るくする標語』では426点もの応募を頂き、最優秀賞に選ばれた3作品の標語ポスターを笹谷地区の各家庭に配付させていただきました。11月21日・22日に笹谷小開催の「ささやっこDay」にも協賛をさせていただいております。

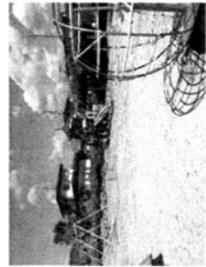
本年度の活動にあたり、多大なるご理解とご協力をいただきました、笹谷小PTAや地域の皆様には心より感謝申し上げます。
健やかな子ども達が多くいることは、地域の未来にとっても重要です。昨年はWBCの優勝に始まり、福島市では「古閑裕而」氏の野球場堂入り記念「全早慶野球戦」が行われました。これも達にとつても多くの刺激を受けそれを実践できた1年となりました。

今後も学校・家庭・地域がお互い連携を取り、地域の力として交流や経験の機会を設け、安全・安心に活動できる環境づくりを続けてまいりたいと思います。

青少年健全育成推進会活動報告

「危険箇所と遊具点検」について

環境浄化活動部長 加藤 倫子
夏休みを直前に控えた7月15日(土)に、毎年恒例の笹谷地区内の公園及び児童の遊び場30カ所余りで3班に分かれて危険箇所や遊具の点検(破損、ポルトのゆがみ、フェンスの状態など)を行いました。



笹谷地区内 児童公園

あいにくの雨の中、活動部員の皆様には各公園を丁寧に見回していただき、大変お世話になりました。点検結果を市に報告し、修繕された箇所も多く、遊具の状態が良くなっていることと思います。市の公園緑地課の皆様にご協力いただき、今後も子どもたちが元気に遊べる環境づくりに努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

令和5年度活動資料

大笹生地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 活動報告

(1) 大笹生地区標語コンクール

- ・今年度も、標語コンクールを実施した。部門としては、児童の部、保護者の部を昨年度同様に設定した。（児童の部：あいさつ、交通安全、防犯、その他、保護者の部 計5部門）
- ・大笹生小学校に在籍する児童全員（61名）と保護者36名から作品応募があり、健全育成の役員等で審査（紙面審査）を行った。各部門ごとに、最優秀賞1名ずつ、優秀賞数名ずつ、参加賞を設定し、表彰式も実施した。記念品として、図書券を用意した。
- ・最優秀作品の5作品を掲載したポスターを作成し、大笹生地区全戸に配布した。

(2) 下校付添パトロールの実施

- ・コロナ禍以前は、夏休み期間の夜間に、学区内補導パトロールを実施していたが、夜間に児童生徒が出歩いていることはなく、夜間補導の必要性が問われていた。そこで、昨年度からは、健全育成のメンバーが分担して、児童の下校時に付添という形でパトロールを実施するようにした。年5回実施したが、下校の安全確保はもちろん、地域と児童との触れ合いや通学路の安全確認の機会ともなり、とても有意義な活動となった。

(3) 育成会の親子清掃活動の実施

- ・今年度から、親子清掃活動を再開する育成会があった。4つの育成会が実施した。



下校付添パトロールの様子

令和5年度活動資料

大波 地区 青少年健全育成推進会

1 事業内容

大波地区青少年健全育成推進会では、世代間の交流と、子どもたちの交流・体験活動の場を提供することを目的に、コロナ前まで行っていた「親子交流餅つき大会」を4年ぶりに開催しました。

地域の方が講師となり、臼(うす)と杵(きね)を使って餅をつき、季節の伝統行事を体験する良い機会となりました。

2 事業の様子



令和5年度活動資料

立子山地区（立子山小学校区）青少年健全育成推進会

1 事業内容

立子山地区青少年健全育成推進会では、世代間交流と子どもたちの学び・体験活動の場を提供することを目的に、「花いっぱい活動」「わくわくふれあい教室」「グランドゴルフ大会」「ボウリング大会」を実施しています。

各事業では、子どもたちだけでなく、保護者や地域の方々、NPO等が参加し、子どもたちと交流することで、楽しい時間を過ごしました。

2 事業の様子



花いっぱい活動



わくわくふれあい教室



グランドゴルフ大会



ボウリング大会

令和5年度活動資料

佐倉地区青少年健全育成推進会

1 活動内容

佐倉地区青少年健全育成推進会では、重点事業として「親子一斉清掃」を行い、地域ぐるみで青少年の健全育成を推進しています。

また各部会の活動も充実しており、健全育成活動部会では「親子の映画のつどい」、非行防止活動部会では「夜間パトロール」、環境浄化活動部会では「危険箇所調査」を行いました。

2 活動の様子



(親子一斉清掃の様子)



(夜間パトロールの様子)

第36回「明るい蓬莱をつくるための意見交換会」特集号

明 る い 蓬 萊



蓬莱地区青少年健全育成推進会

会長 菊田悦夫

今回は、4年振りに蓬莱小・蓬莱東小・蓬莱中、3校が集まり入選者の表彰、意見交換会が、蓬莱学習センター・分館ホールで行われました。「明るい蓬莱・私の標語」には3校より126点の作品応募がありました。選考された作品30点、その中から、優秀作6点が選ばれました。作品については、挨拶・ゴミ・環境・自然の豊かさ・笑顔・感謝・コミュニケーション・イベント・温暖化・心づかい・生徒の皆さんに自分の思いを標語にして頂きました。



新春早々、能登半島地震が発生し、2400人が亡くなり、1万4千人以上の方が避難されています。1日でも早い復興を願っています。

2月3日に稲荷神社で荒汐部屋の力士が豆まきました。令和6年初場所では、大波3兄弟、丹治兄弟が勝ち越しました。若隆景は十両関取復帰、若元春関は関脇へ、自分の夢を抱いて、けがに注意して活躍を期待したいと思います。

最後に標語選考、意見交換会にあたり、生徒の皆さん・家庭・学校、行政、関係各位の方々の御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

発行所/蓬莱地区青少年健全育成推進会
福島市蓬莱町四丁目1-1
福島市役所蓬莱支所内
発行者/菊田悦夫

育てよう
明るい笑顔
豊かな心

優
秀
作

蓬莱中学校

助け合い
コミュニケーションの輪
広げて



蓬莱中学校2年 葛西 糾己子

蓬莱は、人と人との助け合いが光る町だと思ひ、この標語を考えました。互いに助け合うと、自然とコミュニケーションの輪が広がり、笑顔も増えていくと思ひます。高齢化が進む中でも笑顔が増える、みんなが過ごしやすい町になると思ひます。これからも助け合いでコミュニケーションの輪を広げていって欲しいという思ひを、この標語に込めました。



これからも守りつなごう
美しい蓬莱町



蓬莱中学校2年 大戸 美結

私が住んでいる地区には、季節に合った行事があります。草むしりをしたり、落ち葉はきはもちろん、お祭りもあります。そんなとても豊かな蓬莱町は、できた当時から、きつと変わらない美しい文化を、私たちの代だけでなく、これからの代にも守りつないでいてほしいと思ひ、この標語を考えました。

蓬莱小学校

みんなが元気
明るいあいさつ



蓬莱小学校6年 弓削田 乃愛

毎朝学校に行く時に、近所の人達や中学生が明るくあいさつをしてくれます。そのことがうれしいです。また、登下校中に散歩をしているおじいさん、おばあさんを見てみると「すこい元気だな。」と思ひます。実際に私のおじい

ちゃんも、毎朝公園に行つて運動をしています。私は、この体験から、元気で明るい蓬莱町になつてほしいと思ひ、この標語を考えました。

心がキレイ
優しい笑顔の蓬莱町



蓬莱小学校6年 力丸 斉也

毎日あいさつをしてくれるおじいさんたちがいます。そのおじいさんたちは、イベントの準備などでいそがしいときも、ほくたちで笑顔であいさつをしてくれます。元気になつてがんばろうと思わせてくれる、そういう人たちがいっぱいいい町だと思ひました。なので、そのような人が増えて、ほくみたい、がんばろうと思ひる人も増えるといいと思ひました。

